

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回小金井市公共下水道事業審議会	
事務局	環境部下水道課業務設備係	
開催日時	令和3年11月16日(火) 10:00～11:00	
開催場所	小金井市役所本町暫定庁舎1階第2会議室	
出席者	委員	浦谷 規、楠元 克成、貞包 秀浩、南 恵子、齋藤 徹子、 深澤 良彦
	その他	
	事務局	下水道課長 磯端 洋充、業務設備係長 井出 信綱、 工務維持係長 小林 君男、主任 牛込 孝子
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	0人	
傍聴不可等の理由等		
会議次第	別紙のとおり	
会議結果	別紙「審議経過」のとおり	
提出資料	別紙のとおり	
その他	なし	

1 小金井市下水道事業広域化・共同化計画策定について

(下水道課長)

現在策定中の広域化・共同化計画について、前回7月の審議会では概要を説明させていただいたが、今回は具体的な取り組み内容について、説明させていただく。

事務局から資料1をもとに広域化・共同化計画策定の目的、東京都の広域化・共同化計画の実施概要、小金井市における広域化・共同化メニュー案の検討、今後の予定等について説明を行った。質疑応答における内容は以下の通り。

(楠元委員)

電子台帳システム(多摩セミス)の活用の項で、一つのメリットはデータのバックアップ等による事故や災害時における活用が図れることとあるが、市が現在導入している台帳システムのデータはバックアップを取られているのか。

(事務局)

現状でもデータのバックアップについては、定期的を実施している。

(貞包委員)

管きよの維持管理の共同化とは、近隣市と共同で同一業者に点検・修繕等の維持管理業務を委託するという事か。また、多摩地区に一定量の業者を確保していくということは、危機管理にもメリットが見込める取り組みなのか。

(事務局)

全国では複数自治体で管きよの維持管理業務を共同発注する事例が相応にあり、スケールメリットにより費用低減が期待される。なお、多摩地区内の維持管理業者を確実に確保する面でも、特に災害時等も踏まえると、有効な取り組みと期待される。

(浦谷委員)

小金井市は多摩地域で近隣市と料金制度等は一致させているのか。

(事務局)

料金制度は一致してはいない。自治体により相違が生じている状況である。

(深澤委員)

下水道事業の共同実施としてアウトソーシングを行うなどの発想はあるのか。

(事務局)

流域本部の取り組みを踏まえて検討するべきと考える。また、流域本部で実施されるものについても、市の立場として参入を検討していくべきと考える。

2 小金井市下水道総合計画策定について

(下水道課長)

広域化・共同化計画を含む小金井市下水道総合計画は、3カ年の計画で策定をしており、現在2年目となる。総合計画についての概要と全体像について、改めて説明させていただく。

事務局より資料2をもとに総合計画の目的、位置付け、策定の期間等概要、計画の構成、多摩地区他自治体の策定状況、今後の予定等について説明を行った。質疑応答における内容は以下の通り。

(貞包委員)

野川がたまに枯渇しているのを見る。小金井市下水道事業において野川の水量維持などの水環境改善に向けた取組施策も検討されるのか。

(事務局)

河川の水質改善などは河川管理部署となるが、下水道事業は公共用水域の水質保全を一つの大きな目的として、雨水貯留浸透施設の設置の推進により水環境の保全に取り組んでいる。総合計画にも水質保全・湧水保全の内容を入れていきたい。

(浦谷委員)

今回の総合計画に、公営企業会計に移行したことに伴う資産管理や経営面での内容も入れるのか。

(事務局)

今回の計画には主要な取組施策の一つとして経営面での内容も入れるが、経営戦略の改定版を計画の一部として加える予定である。

3 その他

特になし。

閉会

*各議題の会議録・資料については、図書館本館、議会図書館（小金井市役所本庁舎4階）、情報公開コーナー（小金井市役所第二庁舎6階）にて閲覧できます。